

第19号議案

「文京区立幼稚園長・副園長及び教員としての資質の向上に関する指標」の策定について

上記の議案を提出する。

平成30年4月4日

提 出 者 文京区教育委員会

教育長 南 新平

「文京区立幼稚園長・副園長及び教員としての 資質の向上に関する指標」の策定について

文京区教育委員会

今般、教育公務員特例法等の一部を改正する法律の施行により、教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき校長・副校長及び教員としての資質に関する指標の作成が求められています。そこで、文京区教育委員会は、「文京区公立幼稚園の園長・副園長及び教員としての資質の向上に関する指標（以下、指標）」を策定し、教員自らが生涯にわたって、キャリアに応じて求められる資質の向上に努められるようにしました。

文京区教育ビジョン「個が輝き共に生きる文京の教育」

文京区教育委員会の教育目標より「将来の人物像」

- 心身ともに健やかで、自他を尊重し、人間性豊かにたくましく生きる人
- 自ら学び考え、表現し行動する人
- 社会の一員として広い視野をもち、日本の将来を担う人
- 地域を愛し、共に生きる社会を築く人

文京区教育振興基本計画より

【学校教育における知・徳・体のバランスのとれた力の育成】

- ◇ 確かな学力の定着
- ◇ 豊かな人間性の育成
- ◇ 健康・体力の増進
- ◇ 保・幼・小・中の連携・接続
- ◇ 特別支援教育

【子どもの学びを保障する教育環境】

- ◇ 教員の資質向上、教育に専念できる工夫
- ◇ 安全・安心な学校生活のための危機管理体制
- ◇ 子どもたちの課題に対する専門的アプローチ
- ◇ 学校運営に適した学校規模
- ◇ 学校施設等の整備

【地域ぐるみで子どもの教育に取り組むための連携・協働】

- ◇ 家庭・地域と連携した学校・園づくり
- ◇ 家庭教育への支援

文京区の幼稚園教育に求められる教師像

- 教育に対する熱意と使命感をもつ教師
 - ・ 幼児に対する深い愛情
 - ・ 教育者としての責任感と誇り
 - ・ 高い倫理観と社会的常識
- 豊かな人間性と思いやりのある教師
 - ・ 温かい心、柔軟な発想や思考
 - ・ 幅広いコミュニケーション能力
- 幼児のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師
 - ・ 一人一人のよさや可能性を見抜く力
 - ・ 一人一人の発達に応じた高い指導力
 - ・ 自己研さんに励む力
- 組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高め合う教師
 - ・ より高い目標にチャレンジする意欲
 - ・ 若手教員を育成する力
 - ・ 経営参加への意欲

文京区立幼稚園の園長・副園長及び教員としての資質の向上に関する指標

成長段階の設定

成長段階については、教員が目指すべきキャリアステージが職層と一致するよう、その職層に応じて身に付けるべき能力を「人材育成の基本的な事項」として示します。

教 員					教育管理職			
成長段階	教 諭		主任教諭		副園長	園 長		
	基礎形成期	伸長期	充実期	経営参画期		園 長		
	1～3年目	4年目～	10年目～					
観 点	<ul style="list-style-type: none"> ○教員としての基礎的な力を身に付ける。 ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。 ○主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○園務分掌などにおける園運営上の重要な役割を担う。 ○同僚や若手教員への指導的役割を担う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級の運営を円滑に行い、園の運営に積極的に関わるとともに、適切な園務処理、関係者への対応及び折衝を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○園経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。 		<ul style="list-style-type: none"> ○教育者として高い見識をもち広い視野で園経営ができる力を身に付けるとともに、副園長等の人材育成について責任をもつ。 	
人材育成の基本的な事項	指導力	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、ねらいに迫るための指導計画の作成及び教育を行うことができる。 ・幼児一人一人の興味や関心に合わせて環境を構成し、主体的な遊びを促すことができる。 ・日々の実践をねらいに即して評価し、記録に残して幼児理解に努め、指導を改善し、教育を進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の主体的な遊びを促し、若手教員の模範となる指導ができる。 ・若手教員の指導上の課題を捉え、助言・提案等ができる。 ・指導の改善や評価について、実態や課題を捉え、解決策を提案できる。 ・幼児に自己有用感をもたせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの指導を積極的に公開するとともに、自園又は他園の教育を観察し、指導・助言することができる。 ・指導資料等の開発、模範となる指導のための教材開発等を行うことができる。 	園経営力	<ul style="list-style-type: none"> ・園長の経営方針を踏まえ、幼稚園が組織として機能するよう、全教職員を適材適所に配置して、課題を解決できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園経営目標達成のため、幼稚園経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に幼稚園改革を推進することができる。 	
	外部との連携・折衝力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に応じて保護者や地域、外部機関と連携を図り、先輩教員や上司の助言に基づいて、解決に向けて取り組むことができる。 ・日々の保護者との連携を密にとることができる。 ・保護者会等の進め方を理解し、保護者に伝える内容を整理するとともに、信頼関係を構築することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域・外部機関と協働し、課題を解決することができる。 ・幼稚園からの情報発信や広報、外部からの情報収集を適切に行うことができる。 ・地域の人材や場、行事を指導に活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員が抱える課題に気づき、解決に向け指導・助言することができる。 ・自園の課題について、解決策を提案することができる。 ・教育活動の充実のために、地域の人材や保護者を活用しようと提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域・外部機関からの苦情や要請に対して、管理職に報告・相談しながら円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 ・外部への情報発信や広報について、管理職と連携して、ねらいに基づいた計画を立て、実施することができる。 	外部折衝力	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域、関係機関の意見や要望を的確に把握し、外部人材活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、園長の助言を受け、適切に対応できる。 ・保護者に園教育の理解を促し、望ましい園経営や園教育につなげるようにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域、関係諸機関等との信頼関係を築き、適切に外部人材を活用した園経営ができる。 ・子育て支援のセンター的な役割を果たすことができる。
	園運営力・組織貢献力	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の一員として園務を理解し、積極的に参画できる。 ・上司や先輩へ適切に報告・連絡・相談するなど、円滑なコミュニケーションを図り園務を遂行できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する園務分掌についての企画・立案や改善策を提案できる。 ・上司や同僚とコミュニケーションを図りながら、円滑に園務を遂行できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・副園長を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する園務分掌の職務について、若手教諭等に指導・助言ができる。 ・園の課題を捉え、管理職や主任教諭に対応策等について提案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各会議や園務を遂行する場において、園長の経営方針を周知徹底し、副園長を補佐し、園運営を行うことができる。 ・園務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して園運営をすることができる。 	人材育成力	<ul style="list-style-type: none"> ・園長と共に指導観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の職員に合った能力開発と人材育成ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課制度を有効に活用し、教員の能力開発を行うとともに、副園長や主任教諭等の人材発掘と人材育成ができる。
	教育課題に関する対応力	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に関わる法的な位置付けや幼稚園教育要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題について研修会に参加するなどして理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に関する園務分掌での重要な役割を担い、主任教諭、副園長を補佐するとともに、同僚や若手教員に対して適切な助言ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、幼稚園組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して適切に指導・助言できる。 	教育者としての高い見識	<ul style="list-style-type: none"> ・研修や自己啓発を通して、幼稚園の危機管理、マネジメントや経営哲学等を学び、実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に対する地域、保護者等区民の期待や保護者のニーズを把握し、高い見識や教育理念に基づいた幼稚園経営を行い、期待に応えることができる。
					幼稚園マネジメントに関する事項			
					<ul style="list-style-type: none"> ・国や都の動向を捉え、教育課題についての高い見識をもち、自園の教育目標の実現に向けて適切に対応することができる。解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価・改善することができる。 			

指標の「教育課題に関する対応力」の具体的な項目について、以下のとおり、様々な教育課題の中から、これからの文京区の幼稚園教育を推進していく教員に求められる項目を示しています。

教育課題	教員	教育管理職
人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児一人一人の人権に配慮して指導することができる。 ・幼児に対して、いろいろな人と関わる中で互いの違いやよさを認め合い、自分も他者も大切にしようとする態度を育てることができる。 ・幼児のモデルとなる言動を示し、幼児に、他者への思いやりやかけがえのない生命を大切にすることを育てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重についての高い見識をもち自園の教育活動において、様々な偏見や差別等をなくす指導ができていくかを把握し、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。
幼稚園の安全に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の安全管理についての計画やマニュアルを教職員間で理解し、情報共有を確実に図り、意識を高めるとともに、安全な環境を整備し、事件・事故に対して、迅速かつ的確に管理職へ報告・連絡・相談し、対応することができる。 ・幼児一人一人の健康状況等を確実に把握し、食物アレルギー等に対する知識・理解を深め、適切に対応することができる。 ・幼児が安全に対する理解を深め、危険に対する構えを身に付けるようにするとともに、災害などの緊急時に適切な行動をとれるよう、指導することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等の安全管理、事件・事故への対応、食物アレルギー等の幼稚園の安全管理に関する高い見識をもち、安全管理に対して組織的に対応する教職員集団を育成するとともに、適切な判断・指示を行うことができる。 ・事件・事故・災害等高い危機管理意識をもち適切な判断・指示を行うことができる。
道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の道徳性についての理解を深め、よりよく生きるための基盤となる、規範意識の芽生えを育てることができる。 ・幼児が周囲の状況を理解し、自分で判断して行動しようとする態度を育てることができる。 ・幼稚園、家庭、地域が連携し、幼児の豊かな心の育成を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児がよりよく生きるための基盤となる道徳性を身に付けることができるよう、教育活動全体及び保護者や地域、関係機関と連携し、豊かな心の育成を図ることができる。
障害のある幼児への多様なニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある幼児一人一人の特性を理解し、能力を最大限に伸長するために、幼児の実態を的確に把握して関係諸機関と連携を図りながら適切な援助ができる。 ・保護者と合意形成を図り、障害のある幼児一人一人に対して合理的配慮ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育についての高い見識をもち、自園の教育活動において、必要な合理的配慮等が組織的に行われるよう、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。 ・行政・関係諸機関と連携を密にとり、幼稚園の集団の中でふさわしい教育活動を安全・適切に推進し、小学校につなげることができる。
就学前教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育と小学校教育との滑らかな接続を目指し、幼児期の終わりまでに育てほしい姿を考慮しながら幼児の指導にあたり、幼児の育ちを小学校教育につなげることができる。 ・小学校や関係諸機関との連携の必要性が分かり、積極的に交流や連携を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係諸機関と連携した教育のカリキュラムマネジメント及び教職員に対して適切な指導・助言を図り、就学前教育を推進することができる。
国際理解教育の推進 (オリンピック・パラリンピック教育)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児に対して、日本人としての自覚と誇りを涵養し、豊かな国際感覚を醸成することができる。 ・幼児が他者と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる。 ・オリンピック・パラリンピック教育の目的や内容を正しく理解し、組織的・計画的に推進することにより、幼児に重点的に育成すべき5つの資質が身に付けられるようにすることができる。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じ、幼児一人一人の心と体に人生の糧となるレガシーを形成するための指導ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化について高い見識をもち、自園の教育活動において豊かな国際感覚を醸成する指導ができていくかを把握し、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じ、幼児一人一人の心と体に人生の糧となるレガシーを形成させるためにはどのような教育活動ができるかを構想し、自園の教育活動において組織的に推進することができる。